

ただ今、太陽光発電中!

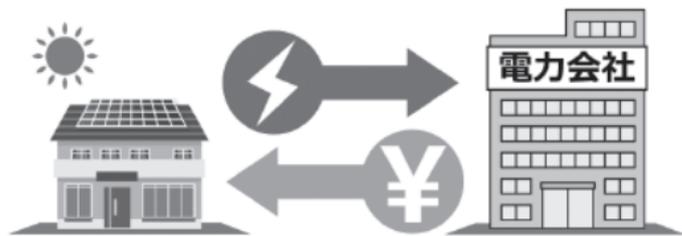
組合施設の空きスペース活用で大きな効果

山梨物流事業協同組合(町田昌義理事長 組合員8社)では、組合倉庫屋根にソーラーパネル約500㎡を設置して売電事業を行っている。

発電出力は49.5KW/hを誇り、組合倉庫の屋根のほぼ全面を覆っている。

設置は、発電パネルの高品質と買い取り価格の長期保証を約束する太陽光専門メーカーと契約し、総工費2千万円をかけ平成25年8月に施工、翌9月より本格稼働を始めた。

組合は、峡東地区の運送業者9社により平成9年



に設立された。当時はバブル崩壊直後で、売上高の減少や請負単価の下落など運送業者の経営環境が厳しい時期であったことから、組合による燃料(軽油)の共同購入と共同倉庫の利用による経営力の強化により、危機を乗り切ろうと設立された。以来、組合事業は堅調に推移している。組合の主力事業である燃料の取扱いは年間3億円以上を売り上げ、組合員に安価で提供することで、安定した経営に大きく寄与してきた。

そして、近年の地球温暖化による環境問題に対して、組合員からも「CO²を多く排出する運輸業界であるからこそ、組合として地球環境保全に取り組む必要がある。」との声も聞かれるようになったことから、組合倉庫の屋根を活用した太陽光発電の実現に至った。自然エネルギーで環境対策に取り組んでいる組合としてのイメージアップや事務所施設の

●山梨物流事業協同組合

TOPICS



電気代の節約と売電による収入増は組合にとってメリットは大きい。

設置から3年目となったH27度の年間発電量は、76,709KWHで320万円(@42円)の収入となり、組合の管理費の一部を賄う財源として、燃料の共同購入と倉庫運営の2つの共同事業とともに、第3の柱としての期待は大きく、組合では本年度も同額の収入を期待している。